

県内百貨店・主要小売店7月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	86.4		92.7
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	1.7	0.7	▲0.6
Vドラッグ	3.3	1.6	▲0.8
ホームセンターバロー	0.6	▲2.3	▲5.0
セリア	5.5	2.1	1.5
ヒマラヤ	▲1.4	▲5.9	▲10.8

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計

県内に拠点を置く百貨店・主要小売店の7月上高実績（速報値、小売店は全店売上高）は、6社のうち5社が前年同月を上回った。土、日曜日が前年同月よりも2日少なかったこともあり、客数が伸び悩んだ社が目立った。

47年間の歴史に幕を下ろした岐阜高島屋は閉店を惜しむ客が途切れず、最終日は2万人が来店し、売れ行きも店の予想を上回った。売上高は86・4%増、客数は92・7%増



百貨店小売店 7月の売上高 岐阜高島屋 86.4%増

と有終の美を飾った。バローは土用の丑のウナギなどが昨年に続いて好調だった。Vドラッグは汗拭きシートや冷却グッズが好調で、新型コロナウイルス患者が増え、風邪薬が伸長した。ホームセンターバローは熱中症対策グッズがよく売れたが、ガーデン家具が不調だった。担当者は「猛暑で夏の過ごし方が変わってきている」と分析した。

セリアは生活必需品が好調に推移し、キャラクターグッズや「ぬい活」グッズなどの上位品目に変動はなかった。ヒマラヤは休日が前年よりも少なかったことが響いた。